

第1回 どろんこバレーボール大会 in HOLY FUNGUS 競技規定

○競技要点

1.ブロック予選

- ①各チーム2試合行う
- ②参加全チームで上位4位チームが決勝大会に進む

2.決勝大会

- ①トーナメント制にて行う

3.得点

- ①1セット10点先取、ラリーポイント制（サーブ権の有無にかかわらず点数が入る）
 - ②3セットマッチ
- ※スケジュール上、短縮する場合あり

4.勝敗

- ①勝率
- ②取得セット数
- ③得失点差
- ④直接対決の勝者
- ⑤ジャンケン

基本ルール

○ボールはソフトバレーボール 円周 78cm 検定球使用

○チーム構成:

1チームは出場4人～7人

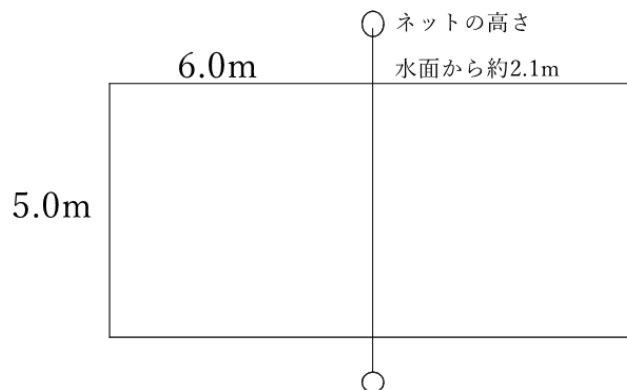
【女性選手人数規定】

- ・出場人数4名の場合：女性1名以上必須
- ・出場人数5～7名の場合：女性2名以上必須

○コート寸法等

幅 5.0m × 長さ 6.0m

ネット高さ 水面から 2.1m 程度



○審判及び競技運営要点

1.競技進行

- ①「開始」各チームコート後方に整列→開始合図→礼→握手（中央）→ジャンケン（サーブ・コート権）
- ②「終了」コート後方に整列→勝敗決定宣言（審判員）→礼→握手 or 相手に泥をかける（中央）→選手退場

2.審判

- ①各試合、裁定は審判員1名で行う（一切の抗議は受け付けない）
- ②遅延行為、危険行為、強硬な抗議態度には、イエロー又はレッドカードにて対応する
（イエローカード：1試合 同一者2回で退場、次の試合出場不可、選手の入替え可）
（レッドカード：1回で退場、以降の試合出場不可、選手の入替え可）

3.得点係

- ①予選リーグの得点係は、次の試合の2チームにて（プラカード持参）行う
- ②予選会最終試合は、第1試合の各チームで行う
- ③決勝試合は、他の決勝大会進出チームで行う
- ④得点係又は試合に遅延・欠場したチームは該当試合を不戦敗（0対10・2セット）とする

※試合予定時刻はお知らせしますが、進行状況によって変更するのことがあるので常に確認すること。

○競技要領

1.サーブ

- ①コート内後方ライト側よりアンダーハンドサーブとする。（ただし、腰より上でのサーブは反則。）
- ②サーブは、ボールの泥水をよくきってからサーブする。
- ③ネット上端部接触後のプレー（ネットイン）は続行する。
- ④サーブは1人連続3得点までとし、ローテーションを行う。
- ⑤第2試合の開始サーブは第1試合の逆のチームとし、第3試合は第1試合のチームとする

2.返球

- ①1人1回の接触にて3回で返球とする【例、OK（A→B→C） 反則（A→B→A）】
- ②3人目のジャンプでの返球は反則（両足 or 片足のつま先が水面より下ならOK）
- ③3人目の返球が、ネット接触した場合は1回の接触での返球はOKとする（誰でもOKとする）

3.ネットタッチ

- ①すべて反則とする

4.オーバーネット

- ①すべて反則とする

5.センターライン

- ①多少はOK（体半分以上相手のコートに入れば反則）相手選手へ妨害は反則

6.ドリブル

- ①多少はOKとする（たまたま体に2回あたる触球は1回とする）故意にすると反則

7.キャッチボール（ホールディング）

- ①すべて反則とする

8.フットボール

- ①故意にボールを足で蹴ると反則とする（ただし、たまたまの触球は可とする）

9.スパイク（アタック）

①すべて反則とする

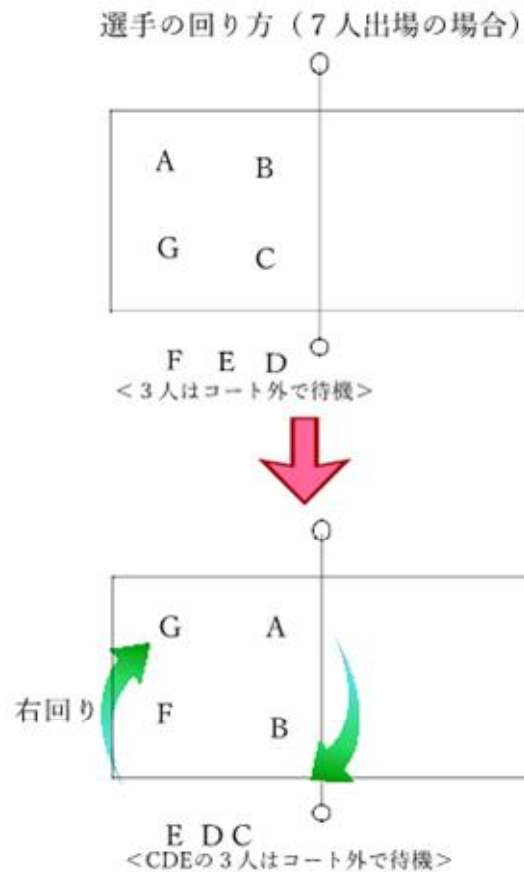
○その他

1.ローテーション

①ポジションを時計回りに1つずつ移動する

②コート外の選手は右側コート外で待機し、一緒にローテーションする。(図参照)

③セットごとに選手を入れ替えは OK とする



2.タイム

①目に泥が入ったり、怪我したとき等のみ 作戦会議は不可

②選手入れ替えは、目に泥が入ったり、怪我したとき等のみ可能。健全な場合は不可

※天候やコート状況により、審判の判断で一部ルールを変更する場合があります

※競技中の怪我・事故について、主催者は応急対応を行います、その後の責任は負いませんので自己責任でお願いします。

以上